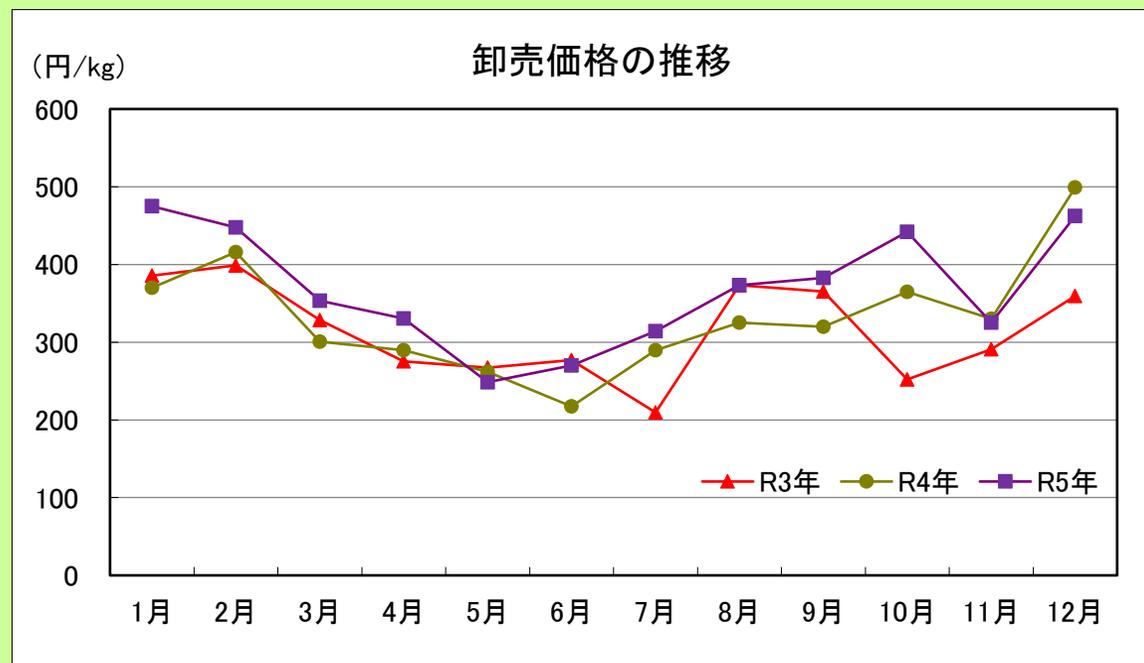
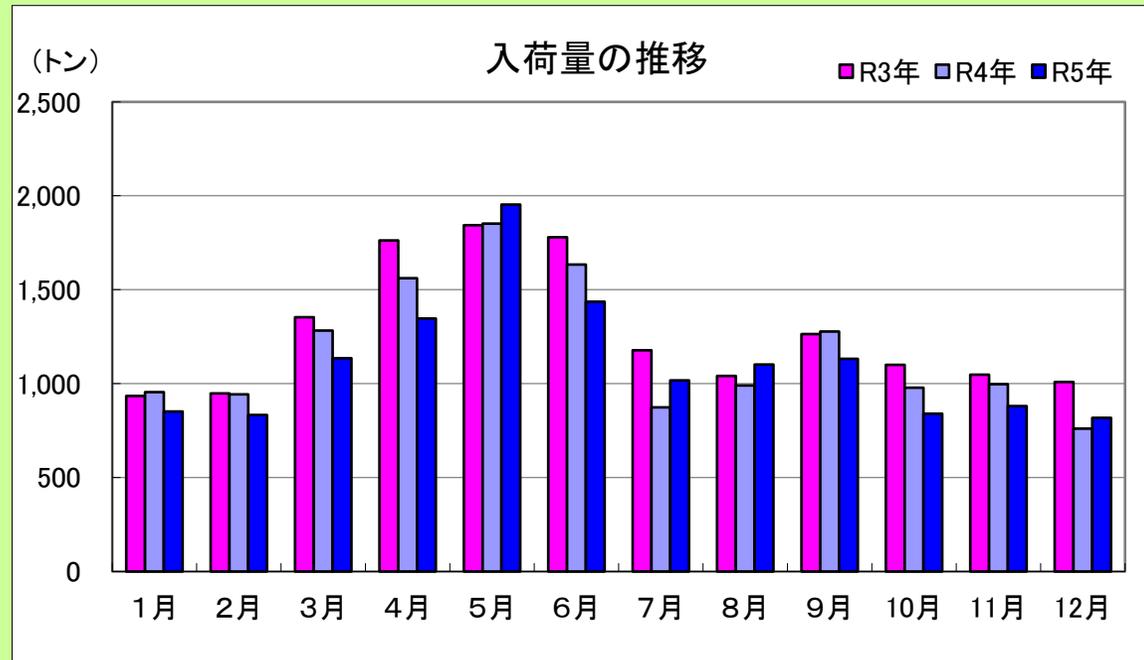


きゅうりの動向

〇年により差があるものの、入荷量は4月から6月にかけて多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。

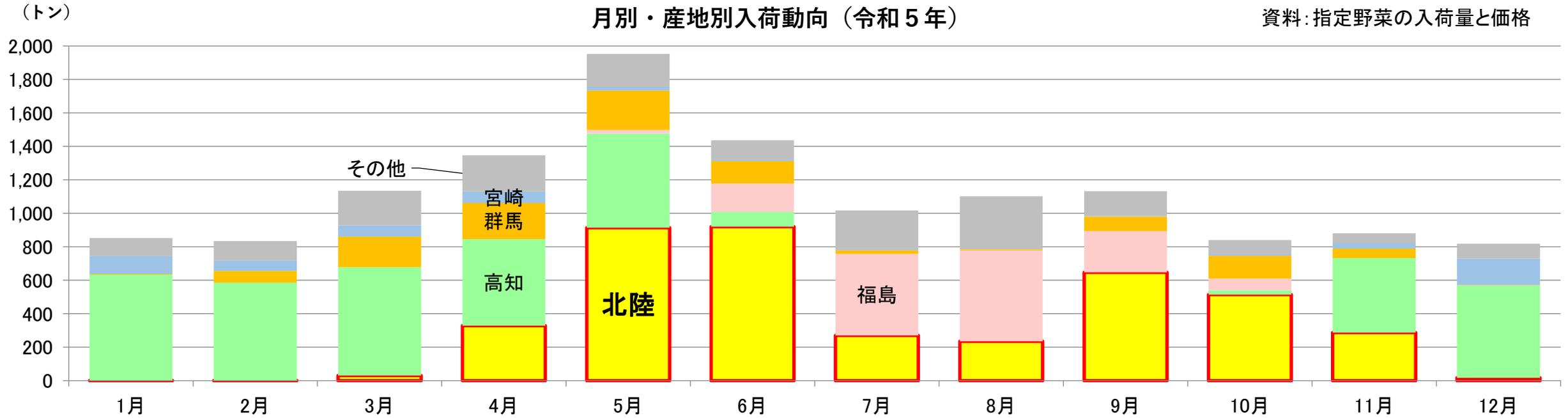
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
247千トン	6.2千トン	26%	74%



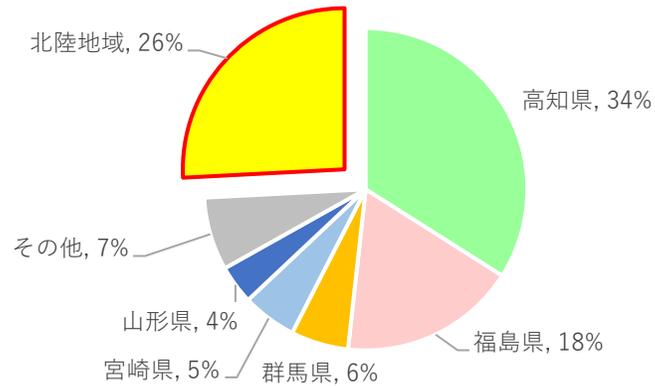
資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、高知産が全体の34%、次いで福島産が18%で、2県で約5割を占める。

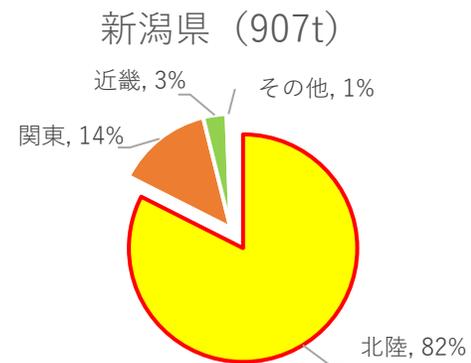
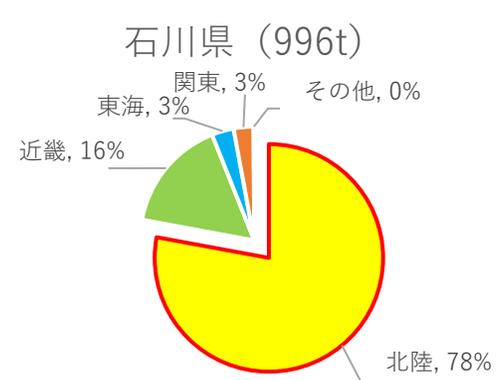
○石川、新潟産の約8割、福井産の約5割が北陸地域へ出荷されている。



産地別取扱割合



(参考) 主要消費地域への出荷量



資料: 令和5年青果物卸売市場調査報告

